

# 令和3年度愛媛県人権・同和教育研究大会

愛媛県教育委員会と愛媛県人権教育協議会は、「差別の現実から深く学び、『部落差別の解消の推進に関する法律』の具現化を目指して、地域ぐるみで人権・同和教育を推進しよう」をテーマに、県内各地の実践を通して学び合い、差別解消に向けて取り組むために、標記研究大会を次のとおり開催いたしました。今年度は、いわゆる解放令が出されてから150年、全国水平社創立から100年、本県において同和教育行政が始まってから50年という節目の年です。私たちは、この節目の年に改めて、先人たちの差別解消への思いや行動から学び、その思いを引き継いでいかなければならないという思いで、本大会を開催いたしました。

## 【全体会】

午前中は、県民文化会館メインホールで、全体会を行いました。参加者数は約1,600人で、多くの参加者を得て開催することができました。



## ○ 開会行事

開会行事は、「開会のことば」で始まり、県教育長の挨拶の後、県知事から祝辞をいただきました。また、今年度は、伊予市の武智利博様と今治市の小田芳朗様、松野町の酒井節子様が、人権・同和教育推進功労者として知事表彰されました。

## ○ 動画上映

「部落差別解消をめざす動画メッセージ」コンテストに応募された中から、優秀作品として選ばれた3作品の上映と表彰を行いました。

### 【優秀作品一覧】

作品タイトル	所属・団体名
部落差別解消の灯は燃え続けている	伊予市人権教育協議会
解放の思いを語り継ぐ	松野町人権教育協議会
僕たちが部落差別を許さない社会をつくる ～人権サークル「リバティ」の取組～	八幡浜市立愛宕中学校

## 【分科会】

午後は、市内6会場(にぎたつ会館、エスポワール愛媛文教会館、松山市総合コミュニティセンター、愛媛県男女共同参画センター、県民文化会館メインホール、サブホール)で、分科会を行いました。約1,300人が、それぞれの分科会場に分かれて参加し、部落差別の解消や人権課題の解決に向けて、約2時間、協議することができました。

